

ふれあい広場

343号



国家公務員共済組合連合会

平塚共済病院

〒254-8502 平塚市追分 9-11

患者専用ダイヤル 0570-000-223

病院代表電話 0463-32-1950

<https://hrt.kkr.or.jp/>

令和8年8月15日 発行



Photo by S.H



■ 基本理念

患者が安心して、地域から信頼される病院を目指します

■ 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します
- ・患者の視点を大切に、多様な立場の方にも配慮します
- ・プライバシーを尊重し、医療情報を適切に扱います
- ・地域医療支援病院としての役割を果たします
- ・健全な経営を維持し、必要な医療設備を整えます
- ・職員が働きやすく、活力ある病院を目指します

■ 患者権利・患者責務

患者と医療提供者が信頼関係に基づき協働して医療を実践するために、患者権利と患者責務を以下に示します。

<患者権利>

I 基本的権利

全ての患者の意思が尊重され、主体的に医療に参加し適切な医療を受ける権利

II 医療における権利

- ・検査や治療を選ぶ権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・可能な限り意思決定に関与する権利
- ・医療の内容を知る権利
- ・尊厳とプライバシーが守られる権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利

<患者責務>

- ・自身の健康に関する出来るだけ正確な情報提供
- ・医療に関する主体的な希望の伝達
- ・説明に対して十分納得した上での医療への参加
- ・病院規則の理解および協力
- ・暴言や暴力行為の禁止
- ・受けた医療に対する医療費の速やかな支払い

防災のおはなし

平塚共済病院 院長 稲瀬 直彦

今年は7月末に熊本地震があり、多くの病院や診療所が被害を受けました。また、記憶に新しい一昨年、能登半島地震では、地域医療が長期間にわたり大きく損なわれました。当院も東日本大震災において建物や医療設備に支障をきたした経験から、地震や津波を想定した防災活動に取り組んでおります。災害発生直後の対応も大切ですが、その後の診療の継続も重要であり、想定される事態を踏まえた事業継続計画（BCP）を作成しております。

近年注目されているサイバーテロですが、病院が標的となることも多く、数か月にわたり医療情報システムが使用できない事態が発生しております。特にコンピューターウイルスを感染させて身代金を要求する悪質な事案も国内外で続いており、医療機関のサイバーセキュリティ対策が必須となっております。現在の診療は医療情報システムに大きく依存しており、不測の事態によりシステム障害が発生すれば診療を大きく制限せざるを得ません。当院では職員によるシステム障害時訓練も実施しております。

さて、本誌は以前に「防災アクションをしてみませんか」という提案をさせていただきました。アクションは4つありますが、1番目が物資の備え（災害用備蓄、日常備蓄）、2番目が室内における備え（家具の転倒防止、ドア近くのスペース確保）、3番目が屋外における備え（地盤や水害想定への把握、避難経路の確認）、4番目がコミュニケーションという備え（近隣住民および家族との協力）となります。いざという時のためにアクションカードとしてまとめ、目につく場所に置くのも一案です。

当院では災害を念頭に置いた市民公開講座「もしもに備える、命とくすり」を企画しました。糖尿病の患者さん向けの講座になりますが、ご家族の方も含めてご参加いただければと思います。

今すぐ始めよう 4つの備え

Action
1

物資の備え

Action
2

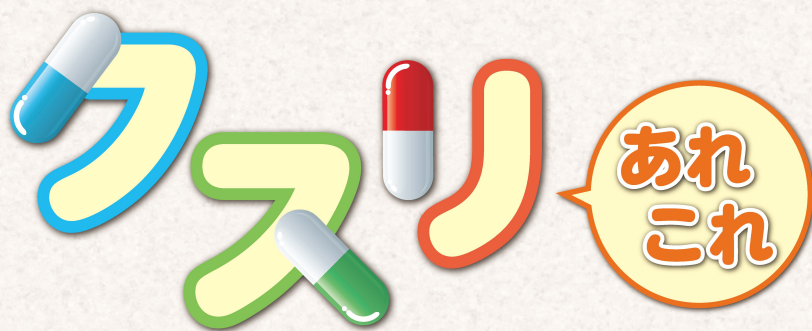
室内における備え

Action
3

屋外における備え

Action
4

コミュニケーションという備え



服用に際して 注意が必要な薬剤について

医薬品において「錠剤」と聞くと、飲み込む薬剤のイメージを持つことが多いと思います。
この「錠剤」ですが、中には特殊な加工がしてあり、飲み方に注意が必要なものもあります。



服用方法に注意が必要な錠剤の一例

○舌下錠

舌の下に入れて溶かし服用する錠剤です。

舌の裏の粘膜から直接血管に吸収され、速やかに作用が発現されます。

そのまま飲み込むと、速効性が失われる、もしくは期待された効果が得られない可能性があります。

(例：ニトロペン舌下錠、シダキュアスギ花粉舌下錠など)

○チュアブル錠

錠剤を飲み込みにくい方でも服用しやすいように、口腔内で噛み砕いて服用する錠剤です。

噛まずに飲み込んでしまうと、錠剤が溶けず正しい薬効が得られない可能性があります。

(例：ホスレノールチュアブル錠、デノタスチュアブル錠など)

○腸溶錠

胃酸で溶けにくく、腸で溶けやすいように加工された錠剤です。

胃酸で分解されやすい薬剤や、胃の障害を起こしやすい薬剤、作用時間を遅くしたい場合などに腸溶錠の加工がされます。

噛んだり砕いて飲んでしまうと、胃酸によって分解され薬効が失われたり、胃を荒らしてしまう可能性があります。

(例：バイアスピリン錠、ラベプラゾール錠など)

○徐放錠

薬効成分が徐々に溶け出すことで、薬の効く時間を長く持続させる加工がされた錠剤です。

噛んだり砕いて飲んでしまうと、急激に吸収され副作用が起きたり、正しい薬効が得られない可能性があります。

(例：ニフェジピン CR 錠、バルプロ酸ナトリウム SR 錠など)

上記はほんの一例になりますので、薬剤が処方された際には、薬剤師から服用方法についてよく説明を聞いて頂ければと思います。

市民公開講座



当院では、以下のスケジュールで公開講座を開催しております。お気軽にご参加ください。

- ♡ **内容** 各回とも、テーマに沿ったスペシャリストがわかりやすく、お伝えさせていただきます。
- ♡ **場所** 平塚共済病院 研修棟 6階 大会議室
- ♡ **時間** 14:00～15:30 (予定)
参加費無料 先着 100名

1 5月28日(木)
医師 × 管理栄養士
「あなたの腸は“快腸”ですか？」



2 8月28日(金)
医師 × 薬剤師
「もしもに備える、命とくすり」
申込はこちらから ➡



3 11月
医師 × リハビリテーション科
「タイトル準備中」



4 2027年 2月
医師 × 臨床検査科
「タイトル準備中」

♡ お問い合わせ

- 代表番号 0463-32-1950 をお願いします。
- 受付時間は、9:00 ～ 17:00です。